第66号　発行　令和　2年11月17日（火）

飯田地区まちづくり協議会　・　飯田公民館だより

高原の風

注意事項を守ってください！！

これまでも公民館だよりで公民館の利用方法などを周知しており、正しく利用する方が多い中、ここ最近注意事項が守られていないことがあります。内容については以下の通りです。

①予約にない土日祝日の無断利用　　②5時以降利用後のカギの閉め忘れ
③使用後の机やイスのアルコール消毒　　④男性トイレの水の閉め忘れ

飯田公民館をキレイで使いやすい場所にしていきたいので、皆さんご協力お願いします！

みなさん3年に一度のブルームーンを見ましたか？

10月31日（土）は3年に一度のブルームーンの年ということで、飯田高原お宝探検隊で『親子でお月見＆紙袋ランタン作り』を開催しました。

なんと今年のブルームーンはハロウィーンと同日であり、これは46年ぶりで次回は38年後と非常に珍しい機会だったので、天体望遠鏡を使って月のクレーターを観察すると、何度も興味深く天体望遠鏡をのぞき込み、中にはスマートフォンのカメラを使って月をキレイに撮影して楽しんでいました。

紙袋ランタン作りでは、小学校でカッターの使い方を習わなくなったということで、大人と一緒にカッターの持ち方から使い方まで教え、それぞれオリジナルのランタンを作り、最後には部屋を暗くして一斉にランタンをつけてそれぞれの個性的なデザインを楽しみました。

飯田地区人口（令和2年10月31日）

人　口	1，735人（+3）
男　性	874人（±0）
女　性	861人（+3）
世帯数	811世帯（+1）

令和　2年11年17日

編集・発行

飯田地区まちづくり協議会

飯田公民館

TEL　0973－79－2251

※※※※※※※※※※※※※（飯田ふれあい交流センター）※※※※※※※※※※※※※

こんにちは 飯田まち協 です

環境部会「オオハンゴンソウ」の駆除活動実施　～ 夏に花芽摘み ＆ 秋に抜根 ～

今年のオオハンゴンソウの駆除活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また三密を避けるため、少人数で作業を行いました。

夏の暑い時期（花の時期）に花芽を摘んで、秋の涼しくなってから抜根作業をする計画で実際に、７月１８日に花芽摘みを行い、１０月２５日に抜根作業を行いました。　（写真上）

当日は、部会長の渡辺格雄氏を中心に８名の方々が集まり抜根作業を行いました。

夏に花芽を摘んだオオハンゴンソウは、茎が枯れているものもあり、また若い芽が出てきているものもありました。

作業は、スコップで根ごと掘り起し、土を落とし、根だけを切って袋に詰めました。あとは町の「防除計画」により、玖珠清掃センターに持ち込み、焼却処分をしました。

今回は、８袋５０kgの駆除ができました。

〔袋詰めしたオオハンゴンソウと記念撮影〕

作成した歴史マップをもとに「筌の口」を“ブラタモリ”!!

教育文化部会では、この夏に作成した筌の口の歴史マップをもとに、部会長の安部道和氏の案内で「筌の口」をブラっと散策しました。

１１月３日の文化の日、前日の雨も上がり、秋晴れのここちよい陽気の中、また美しい紅葉に包まれて、実施することができました。

当日は、筌の口の吹上から下へ下って行き、昭和初期から中期に賑やかだった街並みの痕跡を探索して歩きました。筌の口橋まで下りてから、さらに上流の湯端橋の先の鳴子川発電所まで行き、相沢さんから説明を聞きました。

〔散策の後、紅葉を背景に記念撮影〕

新たな日常　～　多様性を尊重すること　～　新たな挑戦

感染症と共存しながら充実した生活を送るには「多様性を尊重すること」－そう指摘する識者は多い。例えば、「皆で集まりたい」と思う人もいれば、「集まるのは怖い」と思う人も。

コロナ感染の脅威の感じ方は人それぞれ。

「新たな日常」とは、いろいろな状況があり、いろいろな考え方の人がいるという、多様性を尊重しつつ、自他ともの幸福を築き上げていく「新たな挑戦」といえよう。　（新聞記事より抜粋）

さて、あなたはどんな挑戦をしていますか！